

修士課程

モジュール統合科目

ものづくり学統合特論

4単位 The Theory and Practice for KAIZEN Activities

本科目ではものづくりの基本を学ぶ座学と、予め設定された製造現場における教員を含んだ小集団による具体的課題解決の実践を通じて、生産管理を中心とする製造現場改善を実践するための力を身につけるために以下の事項を学ぶ。1. 品質管理（QC）手法に基づく製造現場の分析と問題点抽出および一般解の導出法、2. 現場における特殊条件の把握と問題解決案創出法、3. 現場関係者への改善実行動機づけのためのコミュニケーション法、4. 現場ノウハウの知識化法。

目標: 1. 設定された「場」において本質的な課題を見出すことができる。2. 「場」の現状を把握、分析することができる。3. 具体的な改善案を創出することができる。4. 「場」の当事者に改善案を論理的に説明し、時にはやって見せ、説得し、実行させることができる。5. 任意の異なる「場」でも上記事項が応用できるようになる。（本科目は「ものづくり知識創造学統合特論」から科目名称を変更）

I Tビジネス統合特論

4単位 The Theory and Practice for IT Business

本科目では、ネットビジネス特論にて学習した成果を実践する。第1段階として、基礎となる言語、データベースなど関連技術を修得する。修得する項目はHTML、PHP言語、データベースとしてMySQLなどである。第2段階は、Webビジネス検討段階である。ここでは関連企業との連携によりWeb上のビジネスモデルを検討する。第3段階では、検討結果を基にプロトタイプ開発を実施する。第4段階は、解析段階である。ネットアクセス件数の推移、ネット上の広がり分析、ネット上のキーマンの抽出などの解析を基にプロトタイプのレベルアップを行う。

目標: 1. Webビジネスを行う上で必要となる技術を修得することができる。2. 基礎技術を用いWebビジネスのプロトタイプを作成することができる。3. 開発したプロトタイプの効果を分析することにより、さらに内容の充実する作業に取り組むことによりPDCAを回す能力のレベルアップができる。

ビジネスモデル統合特論

4単位 The Theory and Practice for Business model

本科目では企業会計の知識をベースに、マクロ経済的な観点から企業がおかれている経営環境を調査分析し、資金ニーズの発生と資金調達関連の事項を始めに学習する。次にベンチャー企業として必要な事項を学習した後に、事業計画の検討を行う。ベンチャー企業の成功および失敗事例を調査分析し、検討したビジネスモデルをまとめ発表する。

目標: 1. ビジネスモデル検討に必要な基礎知識が修得できる。2. 新規ビジネス検討のステップを理解できる。3. 修得した知識、分析手法、検討手法をビジネスモデル策定に応用できる。